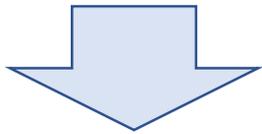


検査の実施件数・地方衛生研究所における検査機器の数値目標（案）

各機関における核酸検出検査（PCR検査等）の実施能力、地方衛生研究所等における検査機器の数

国の考え方		流行初期（～1か月）	流行初期以降（～6か月）
	目標	協定締結医療機関（発熱外来）における1日の対応可能人数以上	協定締結医療機関(発熱外来)数に、ピーク時の1日当たり平均検体採取人数を乗じた数値
	国目安	30,000件/日（全国数値）	500,000件/日（全国数値）



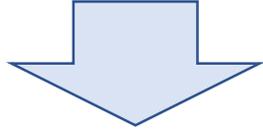
<調査結果>流行初期：7,373件（地方衛研980件、医療機関：6393件）

流行初期以降：38,468件（地方衛研980件、医療機関：17,028件、民間検査機関：18460件）

県の考え方		流行初期（～1か月）	流行初期以降（～6か月）
	対応案	協定締結医療機関（発熱外来）における1日の対応可能人数以上	協定締結医療機関（発熱外来）数に、ピーク時の1日当たり平均検体採取人数を乗じた数値に、必要な行政検査能力を加えた数値以上
	数値目標	5,000件/日、17台 （地衛研の検査機器数）	20,000件/日、17台 （地衛研の検査機器数）

検査の実施件数・地方衛生研究所における検査機器の数値目標（案）

各機関における核酸検出検査（PCR検査等）の実施能力、地方衛生研究所等における検査機器の数

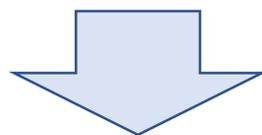


横須賀市の考え方		流行初期（～1か月）	流行初期以降（～6か月）
	対応案		令和2年12月における1日の対応可能人数から算出
目標値		<ul style="list-style-type: none">検査の実施能力 250件/日 (内訳) 健康安全科学センター 60件/日 医療機関、民間検査機関等 190件/日健康安全科学センターの検査機器の数 2台	<ul style="list-style-type: none">検査の実施能力 1,000件/日 (内訳) 健康安全科学センター 60件/日 医療機関、民間検査機関等 940件/日健康安全科学センターの検査機器の数 2台

保健所体制の数値目標（案）

保健所における危機管理体制の強化

国の考え方		平時からの対応
	目標	流行開始から1ヶ月間において、保健所で想定される業務量に対応する人員確保数（例えば、新型コロナウイルスがオミクロン株に変異したいわゆる「第6波」と同規模の感染が流行初期に発生した場合を想定）



国の考え方をもとに検討

県の考え方		平時からの対応
	目標	流行開始から1カ月間の業務量に十分に対応可能な感染症有事体制を構築 【県】第6波時点では委託や集約化がより進んでいたため、流行初期の医療提供体制の想定（令和2年冬）との整合性を考慮し、同時期の業務量に対応する人員確保数で検討



市の考え方		平時からの対応
	対応案	第6波の実績を踏まえた体制を確保
	数値目標	感染症予防等業務担当者 90人 新型コロナウイルス感染症対応業務に従事した職員を業務ごとに分け、1日の時間数を算出し、総時間数から人数を算出

医療従事者や保健所職員等の研修・訓練回数（案）

医療機関並びに保健所職員等に対する研修実施回数

国の考え方

平時からの対応

目標

各協定締結医療機関職員及び行政職員(保健所の感染症有事体制に構成される人員が対象)に対する年1回以上の研修・訓練の実施



国の考え方と同様の目標設定

県の考え方

平時からの対応

対応案

各協定締結医療機関職員及び行政職員の研修・訓練を定期的実施

目標

研修・訓練を年1回以上実施



市の考え方

平時からの対応

考え方

県と同様の考え方とする

目標

研修及び訓練の回数 1回

IHEAT体制の数値目標（案）

感染症有事の際の保健所外部からの応援体制としてのIHEATの整備

平時からの対応

国の考え方

目標

各都道府県で確保しているIHEAT要員のうち、過去1年以内にIHEAT研修を受講した人数



国から具体的な考え方は示されていないため
県独自で目標設定

平時からの対応

県の考え方

考え方

IHEAT支援による保健所の体制強化をするために、継続的かつ月8日（週2回）程度以上従事可能なIHEAT要員を確保できるよう研修を実施

目標

県支援実績の最大値（月当たりの支援延べ人数）をもとに、月8日支援いただくために必要な人数を研修受講者数として設定（別紙参照）



平時からの対応

市の考え方

考え方

県と同様の考え方とする

目標

即応可能なIHEAT要員の確保数（IHEAT研修受講者数） 4人（別紙参照）

IHEAT要員確保数（研修受講者数）の算出方法

■地域別数値目標の考え方

考え方	県支援実績の最大値である令和4年2月の新規感染者数（1か月当たり）の割合に応じて算出 ※数値目標（県全体）： $676人(R4.2) \div 8日 = 84.5人 \div \underline{90人}$
-----	---

■地域別の数値目標

地域	2/1時点 累計感染者数 A	2/28時点 累計感染者数 B	新規感染者数 (1か月当たり) B - A	割合	IHEAT研修 受講者
神奈川県(設置市除き)	37,646	73,029	35,383	17.3%	15
平塚保福	7,701	13,926	6,225	3.0%	3
鎌倉保福	5,311	10,864	5,553	2.7%	2
小田原保福	5,089	9,361	4,272	2.1%	2
厚木保福	19,545	38,878	19,333	9.4%	8
横浜市	101,106	179,080	77,974	38.1%	34
川崎市	62,834	114,333	51,499	25.1%	23
相模原市	17,869	34,124	16,255	7.9%	7
横須賀市	9,633	17,658	8,025	3.9%	4
藤沢市	10,902	20,777	9,875	4.8%	4
茅ヶ崎市	6,306	12,136	5,830	2.8%	3
合計	246,296	451,137	204,841	100.0%	90